

す さ まもる  
東伊豆町議会議員 須佐 衛



イソブキ便り

「誠実・実行・こころざし！」

NO.1～7まではホームページをご覧ください

NO.8 平成26年度 号外！

須佐連絡先 080-3458-0925 / 0557-23-3501 mamo@knossos.jp

号外！



## 川勝県知事に賀茂一市五町の要望を提出！

十一月四日、ふじのくに県議団の橋本一実県会議員のご案内で、下田・賀茂の知事与党友好議員団が川勝平太知事に市町の要望を届けました。



個別の会談では、湯ヶ岡 赤

川線の伸延と大川 中大見パイパスの検討・着手、老朽化した公民館等の建て替えと防災センター化、橋梁の改修と河川の水位計設置などを要望しました。

知事は各地の事情を理解した上、「伊豆は道路などの社会基盤が何より大切」と心強い回答をいただきました。

伊豆縦貫道は近年、飛躍的に進展していますが、これは地元国会議員の皆さんのお力添えの下、川勝県政になってから大きく進みました。今後、私も「伊豆半島改造論」をぶち上げ、社会基盤の整備にまい進していきたいと思えます。

そのほか、来年の世界認定に向け秒読みに入ったジオパークの推進とサミット（先進国首脳会議）の県内誘致、防災における県と市町の共同、健康づくりの面においては、賀茂全域で男女とも高血圧の人が県全体と比べて多いことが指摘され、生活習慣病予防への注文がありました。（11/4）

## 移動知事室に同行！

11月17～18の二日間

の日程で、川勝県知事が賀茂郡を視察に見えました。まずは稲取にある県の農業研究センターで園芸花の視察と、農家の方々の話を聞きました。

「移動知事室」午後からは西伊豆町と松崎町の訪問しました。革新的な病院運営を行っている西伊豆病院で、仲田院長と若手医師との意見交換を行い、続いて県立松崎高校の学生の発表を聞きました。「生徒さんは全員パスポートを持って世界を！」と知事は激励していました。それはオーバーにしても、伝統と向上心ある松高生の将来を見ずえ、外を見ることの大切さを訴えてました。松高生の発表されたジオパークへの取り組みを知事は絶賛していました。

翌日は、松崎町の企業組合「桑葉ファーム」で桑葉を使ったお茶やお菓子などの6次産業の取り組みを視察、続いて西伊豆町立仁科小学校において、



【所属委員会】 総務経済常任委員会 副委員長

- ・議会広報編集委員会 ・議会運営委員会 ・東河環境センター
- 一部事務組合議員 ・健保運営協議会(副会長) ・社会教育委員会
- ・交通安全対策委員会 ・給食センター運営委員会

【議員連盟】

- ・東部MICE振興議員ネットワーク ・発達障がいの支援を考える議員連

民間の進学塾と共同のカリキ  
 ユラムづくりの説明を受け授  
 業を見学しました。浮島のジオ  
 パークの見学でガイドの解説  
 を受けた後、知事広聴「平太さ  
 んと語るつ」を開催し終了しま  
 した。

二日間知事に同行して、知事  
 が伊豆を愛する気持ちと期待  
 がひしひしと感じられました。



仁科小でお見送りの子どもたちに手をふる  
 知事です。(となりは山田校長先生)。  
 今回の訪問の一番印象的な写真です。

### 一市五町を街宣で回る！

月末は連日、西伊豆の星野議  
 員、下田の大黒議員とともに、  
 ふじのくに県議団の広報カー  
 に乗って、下田市・賀茂郡を走  
 らせました。七百億円を使う今  
 回の総選挙に大義はあるのか、  
 そして何より、地域を再生する  
 には「地方分権」「地域主権」

の原点に立ちかえり、若者の移  
 住・定住を進め、開かれた伊豆  
 半島にすることが大切です。

道なき道を枝でバチバチ打  
 たれながら、美しい里山を分け  
 入っているいろいろな方とお話  
 させていただきました。

「この状況を見ろ」と、私に  
 地域の現状をこんこんと説明  
 する方がいらっしやいました。  
 近い将来、限界集落に必ずな  
 る。そつ訴えていました。近々  
 に地域活性化策を唱えます。

### 激動の12月定例会！

12月8日から定例会が開  
 催され、今回は、9月定例会で  
 行った防災対策の関連で、防災  
 におけるコミュニケーションFMの  
 有効性について、生活支援パ  
 スについて質問させてもらい  
 ました。

FMラジオに関しては、当選  
 してすぐの6月定例会で、被災  
 地を見ての实感をそのままぶ  
 つけましたが、あれから3年、  
 当局はラジオ局の開設を検討  
 するまで来ませんでした。同報無線や  
 防災無線などがデジタル化さ

れることの弊害が指摘されま  
 す。だれでもどこでも簡単に聞  
 くことができるラジオの重要  
 性と、それを利用した観光情報  
 の配信など、検討の価値が十分  
 あります。また、生活路線バス  
 の問題は、中山間地の居住者に  
 対し、デマンド式のバスの運用  
 と、学生の通学費の個人負担の  
 軽減を訴えました。

コミュニケーションFM、地域交通  
 の問題は、いずれも賀茂地域一  
 帯で検討し、県へぶつける問題  
 であり、今後の私の政治課題と  
 していきます。

### 怒涛の衆院選挙、第6区で は渡辺周氏が祝当選！

12/2、風が強く寒い一日  
 になりましたが衆議院議員選  
 挙の公示日となりました。各地  
 で候補者の出陣式がありまし  
 た。民主党第6区の渡辺周候補  
 は、沿津を皮切りに熱海、伊東、  
 東伊豆町、河津を精力的に回り  
 最後に下田の敷根の事務所で  
 出陣式を行いました。

東伊豆町では、マックスバリ  
 ユー下で第一声、私も一言ご挨拶

拶させていただきます。「ア  
 ベノミクスこの道しかない！」  
 と安倍さんは言ってますが、こ  
 のシャッター街をどうしてく  
 れるのでしょうか。第3の矢なる  
 大胆な規制緩和を進めること  
 が果たしていいのか。米は米  
 屋、酒は酒屋、タバコはタバコ  
 屋の時代が終わってしまった。  
 なんとか、昔ながらの商店街を  
 復活させたいものです。

これからは福祉中心の長期  
 的で持続可能な経済を進めて  
 いく必要があります。子育て支  
 援の拡充、最低保障年金による  
 老後の安定、中小企業の活性化  
 など、私たちの身の丈に合った  
 経済政策、一部の利権よりみん  
 なの笑顔が見える政治を進め  
 なければなりません。



周さんは2日の出陣式の他にも5日の8  
 日と下田賀茂に入られ、熱心に国政の状  
 況とこれからの地域の展望について訴え  
 ました。